

CONFERENCE REPORTS (3)

第3回表面科学討論会

吉原一紘

金属材料技術研究所

〒153 東京都目黒区中目黒 2-3-12

(1984年1月30日 受理)

The 3rd Conference on Surface Science

Kazuhiro YOSHIHARA

National Research Institute for Metals

2-3-12, Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo, 153

(Received January 30, 1984)

The 3rd Japanese conference on surface was held at National Research Institute for Metals in Tokyo on December the 6th through December the 7th, 1983.

Twenty six papers including 4 invited lectures were presented and about 100 scientists and engineers attended the conference.

1. 経 過

日本表面科学会主催の第3回表面科学討論会が23学協会の協賛を得て、昭和58年12月6日、7日の2日間、科学技術庁金属材料技術研究所(東京都目黒区中目黒2-3-12)で行われ、105人の研究者が参加し、最後まで熱心な討論が続けられ、非常に盛会のうちに会を終了した。

この討論会は、日本表面科学会として3回目の試みであり、討論会の内容、規模、討論時間等は前2回に準じて行われたが、会期を前回の2月より12月に変更したため、会場も前回の中央大学理工学部から金属材料技術研究所に変更することになった。なお、今回初めての試みとして、12月6日夕刻より懇親会が開かれ、清山哲郎会長以下約20名の参加を得て、和気あいのなかで話はずみ、時間の経過も忘れるほどであった。

今回は討論会ということでもあり、講演者に日頃抱えている問題点を積極的に提起していただき、これを参加者全員で十分時間をかけて討論するという点に重点が置かれた。

次に、討論会の内容は表面に関する問題をできるだけ広い分野から集めるということで、今回は下記の分野を含むことになった。

- (1) 表面物理 (2) 表面化学 (触媒を含む)
- (3) 金属及び半導体表面 (4) 微粒子の表面、界面
- (5) 高分子、生体面 (6) 新材料、複合材料面



討論会



懇親会(清山会長を囲んで)

(7) 表面処理 (8) 表面の分析及び評価
講演時間は討論も含め20分を予定したが、議論が集中し、討論時間が延長されるものが多かった。

2. 内 容

講演は招待講演と一般講演に分れ、プログラムは、会誌「表面科学」第4巻第4号にとじこみのおり行われた。

今回は表面処理、薄膜、吸着などに関する基礎的な話題が多かったように思われた。このように表面の問題を各分野の方々が一同に会して、それぞれの立場から議論する機会が持てたことは大変有意義であった。

3. おわりに

今回も前2回と同様の形式で討論会を行い、大変盛会のうちに終わることができましたが、次回もまた同様の機会を持ちたいと思います。

このような討論会という形式を今後も続けていくかどうかとか、内容、時期、会場の場所、発表数、セッション数等について、何でもお気付きの点がありましたら事務局まで御連絡いただければ幸いです。